



Human Metabolome Technologies, Inc.





2021年6月期第3四半期 決算補足説明資料

2021年5月

ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社 (6090)

2021年6月期第3四半期 業績サマリー



売上高	926百万円 (前年同期比7%減)
 メタボロミクス事業	国内・海外ともにWEBを中心とした営業活動を展開 測定試料の入手遅延等の影響により減少
営業利益	97百万円 (前年同期比24%減)
 メタボロミクス事業	売上高減少によりセグメント利益減少
 バイオマーカー事業	PEA(うつ病バイオマーカー) 検査受託の拡大や測定メソッドの開発を 継続する他、新たなパイプラインや関連ビジネスの検討を継続
 全社共通	バイオマーカー事業の事業開発機能を全社機能として整備するととも に、全般的に管理コスト削減に取り組む

(百万円未満切捨て)

**メタボロミクス事業の受注拡大を図るも
顧客の研究開発遅延の影響等により売上高は減少
営業の効率化や一般管理費の削減に取り組む**

(単位：百万円)
(表中の△は損失・百万円未満切捨て)

	2020年6月期 第3四半期	2021年6月期 第3四半期	増減額	増減率
売上高	993	926	△ 67	-7%
営業利益	128	97	△ 31	-24%
経常利益	132	118	△ 14	-11%
親会社株主に帰属する 当期純利益	88	93	5	6%
1株当たり当期純利益	15.05	15.89	-	-

セグメント別実績

セグメント売上高

	2020.6 3Q	2021.6 3Q	増減額
メタボロミクス 事業	990	923	△ 67
バイオマーカー 事業	2	2	0
全社共通	-	-	-
合計	993	926	△ 67

セグメント費用

	2020.6 3Q	2021.6 3Q	増減額
メタボロミクス 事業	495	532	37
バイオマーカー 事業	125	60	△ 65
全社共通	244	235	△ 9
合計	864	828	△ 36

(単位：百万円)
(表中の△は損失・百万円未満切捨て)

営業利益

	2020.6 3Q	2021.6 3Q	増減額
メタボロミクス 事業	495	391	△ 104
バイオマーカー 事業	△ 122	△ 57	65
全社共通	△ 244	△ 235	9
合計	128	97	△ 31

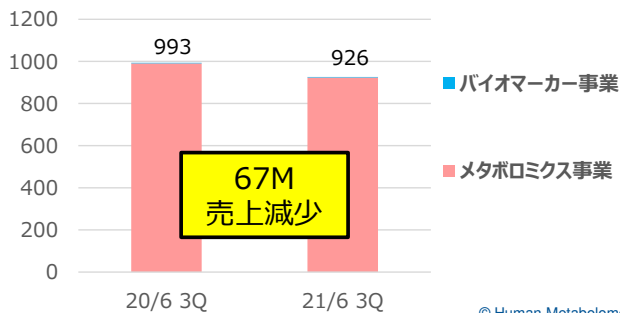
■ セグメント別実績（売上高）



セグメント売上高

- WEB活用した営業活動を展開
- 顧客の研究開発遅延の影響等により全体としては売上減少

	2020.6 3Q	2021.6 3Q	増減額
メタボロミクス事業	990	923	△ 67
バイオマーカー事業	2	2	0
合計	993	926	△ 67

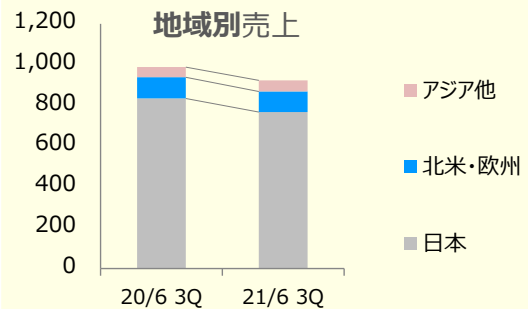
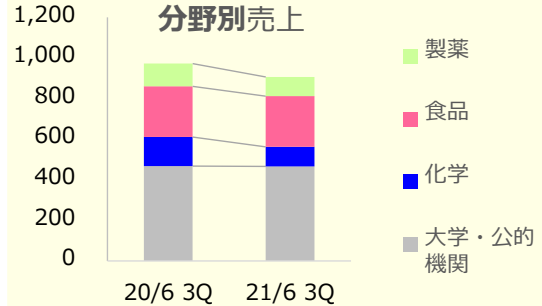


© Human Metabolome Technologies, Inc.

(単位：百万円)
(表中の△は損失・百万円未満切捨て)

メタボロミクス事業売上

- ・アカデミア分野は前年並み
- ・化学分野等の案件が一部遅延



5

■ セグメント別実績（費用）

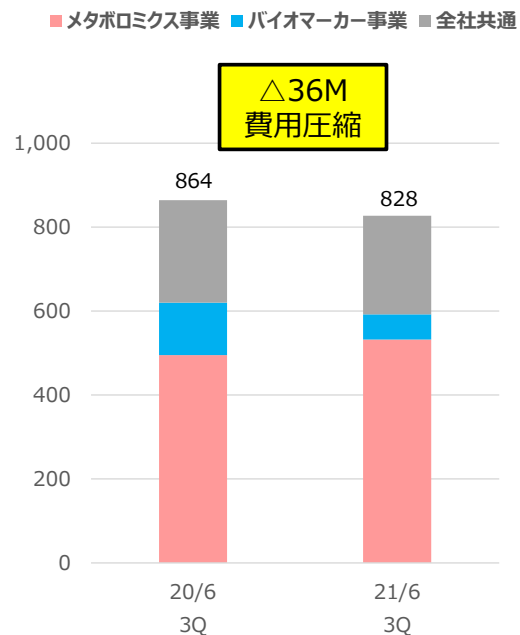


セグメント費用

- 営業効率化への取組み
- 全般的な管理コスト削減への取組み
- BM事業の事業開発機能を整備

	2020.6 3Q	2021.6 3Q	増減額
メタボロミクス事業	495	532	37
バイオマーカー事業	125	60	△ 65
全社共通	244	235	△ 9
合計	864	828	△ 36

(単位：百万円)
(表中の△は損失・百万円未満切捨て)

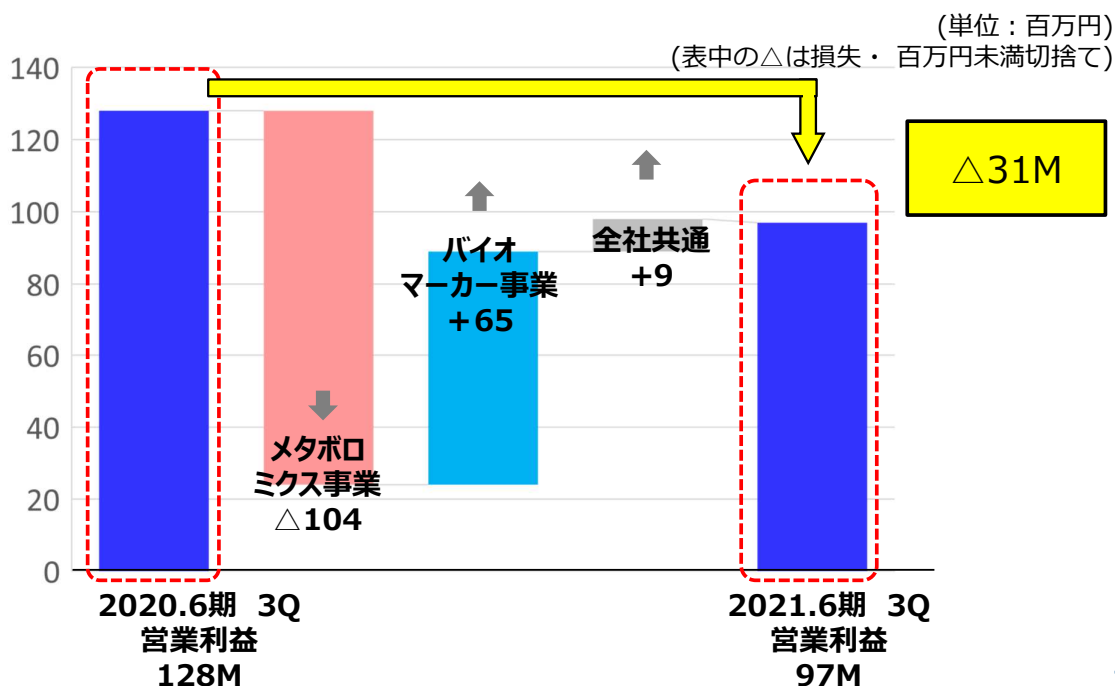


© Human Metabolome Technologies, Inc.

6

営業利益

- バイオマーカー事業の事業開発機能の整備、全般的な管理コスト圧縮の効果はあったが、売上減少が影響し、営業利益は31M減



© Human Metabolome Technologies, Inc.

主要なバイオマーカー開発状況まとめ

バイオマーカー事業

メンタルヘルス

- 精神状態の評価指標の開発としてマルチマーカー（複数因子）への取組み。
- 予防・モニタリングに焦点を当てた開発を継続。
- 複数大学との共同研究継続するとともに、事業化に向けた検討を開始。

軽度認知症等

- 弊社共同研究講座「メタボロミクスイノベーション学」（弘前大学）での研究開発。
- 社会実装に向けた開発を継続。多検体でのマーカーの検証実施中。

糖尿病性腎症

- 当社保有のマーカーについて国内大学との共同研究を実施。学術的成果の論文化検討。

バイオマーカー探索研究支援

- PEA研究検査受託において、測定費用の削減への取組みを実施。測定技術改良を継続。
- エクソソーム関連分野の研究ツール（試薬・受託等）開発と改良を継続。

参考資料

HMT

9

2021年6月期 連結業績予算



売上高増加

- ・新たな解析メニューの拡充、グローバルでの営業体制の強化等に取り組む
- ・COVID-19の影響は、測定試料の遅延等のマイナス要素があるものの、プラス要素（研究活動の活発化）も考えられ、現時点では軽微

黒字化

- ・研究開発は緩めることなく継続していく。
- ・解析の稼働率を上げ生産性向上と適切なコストコントロールにより黒字化を目指す

(単位：百万円)

	予算 2021年6月期	(ご参考) 前期 2020年6月期	差額
	金額	金額	金額
売上高	1,200	1,118	+82
営業利益	20	△17	+37
経常利益	35	△16	+51
親会社株主に帰属する当期純利益	10	△47	+57
一株当たり当期純利益	1円69銭	△8円15銭	-



ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社

設立年月日：2003年7月1日

資本金：1,480百万円

取締役（社内）：橋爪 克仁（代表取締役社長）
大畑 恭宏（取締役）

創業者：富田 勝 慶大教授

曾我 朋義 慶大教授

主な事業内容：メタボロミクス事業
バイオマーカー事業

売上高（直近）：1,118百万円

従業員数（連結）：75名（博士：18名）

本社：山形県鶴岡市覚岸寺字水上246-2
東京事務所：東京都中央区新川2-9-6

シュテルン中央ビル5階

子会社：HMTアメリカ アメリカボストン
HMTヨーロッパ オランダライデン

（2021年3月末現在）

予防医療、個別化医療 への貢献



中長期的拡大戦略
成長エンジン

バイオマーカー事業

革新的な検査技術・
診断技術を創出

収益を投資

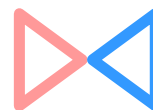
短期的利益エンジン

メタボロミクス事業

先端的なメタボローム解析技術と
バイオマーカー探索技術を確立

メタボロミクス事業

代謝成分の網羅解析技術を用いて、顧客（製薬企業等の研究部門や大学等の研究機関）の研究開発を支援します。



バイオマーカー事業

新規のバイオマーカーの探索研究を行い、新しい診断技術の開発、試薬・機器の製造販売を行います。

収益構造	<ul style="list-style-type: none"> ・受託試験 ・共同研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・検査受託、試薬販売 ・ライセンス ・ロイヤリティ
収益時期	短期的	長期的
顧客	製薬企業、食品会社、 大学、研究機関など	研究機関、検査機関、 病院、各種民間企業 など

本資料に含まれる将来の見通し等に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後のマクロ経済動向、市場環境や当社の属するライフサイエンス業界の動向、当社の研究開発の進捗、その他内部及び外部要因により変動することがあります。

そのため、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通し等に関する記述と異なるリスクがあることを予めご了承ください。